

福岡アジア美術館
スクールプログラム 申込書

学校名	申込日			
	年	月	日	
担当教諭	学校長			
住所 〒				
TEL	—	—	FAX	—
E-mail	@			
日 程	第1希望	月	日 (	曜日)
	到着時間		時	分
	出発時間		時	分
	第2希望	月	日 (	曜日)
	到着時間		時	分
	出発時間		時	分
人 数	児童・生徒	年生	クラス	人
	引率者	人	合計	人
授業の目的	☐ 図工・美術の授業 ☐ 総合的な学習の時間 ☐ その他 (☐ にチェックを入れてください。)			
美術館での過ごし方	☐ 施設の見学や、作品を鑑賞したい ☐ 解説を聞きながら見る ☐ 解説なしで自由に見る ☐ アジアのアーティストや研究者と交流したい ☐ お話を聞く ☐ 一緒に作品を制作する			
その他	何かご希望などがありましたら、ご自由にお書きください。			

お申込書の送付先 FAX: 092-263-1105 E-mail: faam@faam.ajibi.jp

〒812-0027
福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階
TEL: 092-263-1100 URL: <http://faam.city.fukuoka.lg.jp/>

福岡アジア美術館

2019年度 スクールプログラム



《魂の旅》パンヤ・ウィチンタナサーン (タイ) 2001年

福岡アジア美術館では、学校の授業などでアジアの文化やアートに親しむためのスクールプログラムを実施しています。多様なアジアのアート作品を鑑賞し、アジアのアーティストとの作品制作や研究者によるトークなどを通して、豊かな創造性を育み、異文化交流を図ることができます。

こんな学習ができます

1.作品の鑑賞 多様なアート表現を味わう ボランティアと対話しながらアジアギャラリーの作品を鑑賞します。アジア美術の多彩な表現の面白さや制作の意図・社会的背景などについて理解を深めることができます。  ※ボランティアが会場をご案内します	2.トーク/スタジオ見学 アジアの「もの」「ひと」「こと」との出会い アジアのアーティストや研究者から自国の文化や美術についての話を聞いたり、スタジオを訪れて作品の制作過程を見学したりすることができます。  ※滞在アーティスト・研究者に会えます	3.ワークショップ アーティストとともに、一味ちがう創作体験 アジアのアーティストの指導のもと、アジアの伝統文化にまつわる作品や、アーティストのユニークでクリエイティブな手法をとり入れた作品制作を体験できます。  ※滞在アーティストが指導します
---	---	---

所蔵品展示室（アジアギャラリー）の観覧料は、中学生以下は **無料** です。プログラムを利用する場合は、引率者も無料となります。（事前申し込みが必要）

体験学習のモデルコース

図工・美術・総合的な学習の時間、その他の校外学習に活用できます。

アジア美術館と観劇や美術館周辺の施設などを組み合わせて地域学習をすることもできます。

じっくり鑑賞コース (2 時限 / 約 1.5 時間)

① オリエンテーション

10 分
美術館スタッフが、鑑賞の際の注意点などを説明します。

② 作品の鑑賞

70 分
ボランティアといっしょに、アジアギャラリーや館内の作品を鑑賞します。



③ 終わりの挨拶

10 分
体験学習のまとめや点呼などをおこないます。

アジアのアーティストや研究者と出会うコース (3 時限 / 約 2 時間)

① オリエンテーション

10 分
美術館スタッフが、鑑賞の際の注意点などを説明します。

② 作品の鑑賞

70 分
ボランティアといっしょに、アジアギャラリーや館内の作品を鑑賞します。

③ トーク / スタジオ見学

30 分
アジアの研究者によるトークやアーティストの制作現場の見学などをします。

④ 終わりの挨拶

10 分
体験学習のまとめや点呼などをおこないます。

アジアのアーティストと創作するコース (6 時限 / 約 4.5 時間)

① オリエンテーション

10 分
美術館スタッフが、鑑賞の際の注意点などを説明します。

② ワークショップ

120 分
アーティストの指導のもと、作品の制作をおこないます。



③ 昼食

60 分
※昼食場所については、別途ご相談ください。

④ 作品の鑑賞

70 分
ボランティアといっしょに、アジアギャラリーや館内の作品を鑑賞します。

⑤ 終わりの挨拶

10 分
体験学習のまとめや点呼などをおこないます。

博多の歴史を学ぶコース (6 時限 / 約 4.5 時間)

① オリエンテーション

10 分
美術館スタッフが、鑑賞の際の注意点などを説明します。

② 作品の鑑賞

70 分
ボランティアといっしょに、アジアギャラリーや館内の作品を鑑賞します。

③ 終わりの挨拶

10 分
体験学習のまとめや点呼などをおこないます。

④ 昼食

※昼食場所については、別途ご相談ください。

⑤

180 分

川端商店街

博多町家ふるさと館

はかた伝統工芸館

櫛田神社

聖福寺・東長寺

承天寺・博多千年門

※各施設に問い合わせください。

所蔵品展示 (アジアギャラリー)



《教育による進歩》
カルロス・フランシスコ
(フィリピン) 1964 年

4 月 1 日 ~ 2020 年 3 月 31 日
アジアの美術
—黎明期から激動の現代まで—

19 世紀以降のアジア美術を系統的に紹介します。

3 月 28 日 ~ 6 月 25 日
新収蔵品展
—2016-2019 年—



《念写
(未来派風に食べる)》
メヘリン・ムルターザ
(パキスタン)
2014 年

約 3000 点の当館所蔵作品の中から、2016 ~ 19 年の 4 年間に新たに所蔵した作品を紹介します。

6 月 27 日 ~ 9 月 24 日
三館連携企画
対決! アジアの肉体派



《崇拜》
タワン・ダッチャニー
(タイ)
1964 年

「ラグビーワールドカップ 2019」を記念し、福岡市美術館・博物館と連携して開催するコレクション展。

10 月 5 日 ~ 11 月 26 日
福岡アジア美術館
開館 20 周年記念
ベストコレクション (仮)



《サンティモン社の女》
チェン・ジン (陳進)
(台湾)
1936 年

アジア美術館の開館 20 周年を記念し、各地域・時代を代表する当館でしか見られないアジア美術の決定版のコレクション展。

12 月 5 日 ~ 2020 年 3 月 17 日
アジア美術からみる
LGBTQ と多様性社会



《家族を再定義する #1》
ハン・ティ・ファム
(ベトナム)
1990-91 年

性的マイノリティとして社会に向かう作品やジェンダーを超越する作品など、現代社会の多様な人間のあり方をめぐる作品を紹介します。

3 月 28 日 ~ 2020 年 3 月 17 日
あじび研究所



《テチュリ婦人会長さん》
イ・ユニョプ
(韓国)
2006 年

所蔵作品を 1 点ピックアップし、関連資料などのフォーカス展示をおこないます。(3 か月ごとに展示替え)

3 月 28 日 ~ 2020 年 3 月 17 日
あじびレジデンスの部屋



《店を見る》
チュンリン・ジョリー
・モク (香港)
2015 年

アジア美術館の滞在作家が制作した福岡生まれの作品などを紹介します。(3 か月ごとに展示替え)

アーティストや研究者の滞在予定

アジアの国や地域からアーティストや美術研究者が滞在し、館内で作品制作や研究活動をおこなっています。滞在中は、学校向けのワークショップをはじめ、アジアの文化やアートについてのトークなど様々な交流活動が可能です。滞在日程は変更になる場合がありますので、申込みの際にご確認ください。

■ 5 月 ~ 7 月

アーティスト

ハン・ソンピル (韓国)

街の中や建物の外壁に別の場所のイメージを写した大型写真を設置し、環境問題を提起するアーティスト



■ 8 月 ~ 10 月

アーティスト

レ・ヒエン・ミン (ベトナム)

女性の社会における役割や状況をテーマに、ベトナムの手すき紙を使った作品を制作



お申込み・実施までのながれ

- ① 日程の見込みの段階で、まずはお電話ください。(実施見込み日の 1 か月前まで)
- ② 申込書を FAX 送信
- ③ 打ち合わせ・下見
(集合場所、見学場所、ワークショップの内容など)
- ④ 実施

お申込み・問い合わせ

福岡アジア美術館
スクールプログラム申込み担当まで
TEL: 092-263-1100 FAX: 092-263-1105
E-mail: faam@faam.ajibi.jp
〒812-0027
福岡市博多区下川端町 3-1
リバレインセンタービル 7・8 階
URL: <http://faam.city.fukuoka.lg.jp/>